

社会資本総合整備計画書

ナラケン ヘグリチョウ
奈良県 平群町

平成23年2月28日

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成23年2月28日

計画の名称	1 平群駅周辺の活気とにぎわいのある住み良いまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	平群町
計画の目標			

平群駅周辺は町の玄関口として、これまで町の発展に寄与してきたところであり、町役場を含むシビックゾーンであるとともに、商業・業務・文化機能などが集積する町の中心地である。しかし、丘陵地の住宅開発地に比べ、道路・公園・駅前広場などの都市基盤が立ち後れており、防災面、環境面で問題を抱えている。また駅周辺の区域流入人口が減少することに起因し商業施設が減少傾向にあるため、まちの活気やにぎわいが失われつつある。そこで駅前広場を含めた、道路網の整備、公共交通網の整備、公園の整備等、都市基盤整備を行い、良好な市街地形成を図り、且つ商業や地区の活性化を図ることを本事業の目的とする。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・近年、平群駅西特定土地区画整理事業区域内の店舗数と「平群駅」の乗降客数は減少傾向にあり、それぞれ、少しでも減少を止めることを目標とし現状維持に努める。
- ・密集した老朽住宅の除去や建て替えを促進することにより、平群駅西特定土地区画整理事業区域内の建築物の耐震性が確保され、防災面においても良好な居住環境の推進を図る。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値	中間目標値	最終目標値						
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)						
平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による店舗数の推移 平成18年の調査時 40件 平成22年の調査時 31件	31	31	31						
近鉄「平群駅」での聞き取り調査による乗降客数の推移 平成20年6月17日 3,783人/日 平成21年6月17日 3,557人/日 平成22年6月17日 3,477人/日	3,477	3,477	3,477						
平群駅西特定土地区画整理事業区域内におけるコミバス利用者の降車人数の推移 平成20年4月の調査時 270人/月 平成21年4月の調査時 250人/月 平成22年4月の調査時 250人/月	250	260	270						
平群駅西特定土地区画整理事業区域内の実地調査による老朽住宅（住宅市街地総合整備事業制度要綱により算出）の減少率 （土地区画整理事業施行前（平成18年）からの減少率） 平成18年老朽住宅数120棟 平成22年老朽住宅数 109棟 減少率 $(120 - 109) / 120 \times 100 = 9\%$	9	68	78						
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,978百万円	A	5,586百万円	B	C	392百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	6.6%

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都再区画	一般	平群町	間接	平群町平群駅西土地区画整理組合	平群駅西特定土地区画整理事業	都市再生区画整理 12.5ha	平群町						5,586	
合計													5,586		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	都再区画	一般	平群町	間接	平群町平群駅西土地区画整理組合	平群駅西特定土地区画整理促進事業	換地先整備等	平群町						257	
1-C-2	公共交通	一般	平群町	直接	平群町	中心市街地循環バス整備事業	中心市街地循環バスの実証実験	平群町						135	
合計													392		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	当効果促進事業である換地先整備を重点的に行うことにより、市街地形成となる区画道路を早期整備し都市再生区画整理事業（1-A-1）区域内の宅地の有効利用を促進し活気とにぎわいのある住みよいまちづくりを行う。	
1-C-2	当該区域を公共交通網の基点（ハブ）と位置付け、走行空間の改善（1-A-1）に合わせ中心市街地への循環バス路線を整備することにより、移動利便性の向上を図り、区域内への流入人口が増加することによる地域の活性化を目的とする。	

社会資本整備総合交付金チェックシート

(市街地整備分野)

計画の名称:平群駅周辺の活気とにぎわいのある住み良いまちづくり 事業主体名:平群町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針との適合等	
1)計画の目標が上位計画等との整合している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
3)事業実施に関して、住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1	平群駅周辺の活気とにぎわいのある住み良いまちづくり	交付対象	平群町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			

